

オペラ アマールと 夜の訪問者

～演出家が語るオペラの楽しみ～



2007年

5月27日(日)

開演 午後3:30～

会場：倉吉未来中心大ホール

主催/鳥取県・鳥取県文化団体連合会・鳥取オペラ協会

協力/鳥取大学地域学部附属芸術文化センター

助成/エネルギー文化スポーツ財団・ごうぎん鳥取文化振興財団・芸術文化振興財団

NPO法人花本美雄文化振興会・(財)三菱UFJ信託地域文化財団

奇跡のような鳥取オペラの10年

と ぼ たか ゆき
鳥取オペラ協会 会長 計 羽 孝 之



全国で最も小さな鳥取県。その地域にオペラ活動が根付いているのは、奇跡のようだとされています。この10年間、鳥取オペラは、理想的な指導者と環境に恵まれ、かつて地方では望み得なかったハイレベルなオペラ集団として成長してきました。オペラ公演ごとに作品の完成度を高め、更なる可能性が広がり、聴衆の期待感を刺激して来たのです。

鳥取オペラに結集するのは、歌手たちのみでなくオーケストラや合唱団・ピアニストとったさまざまな分野のエキスパートたちなのです。そして、オペラに必要な総合的な陣容を擁するこの集団こそ、鳥取オペラの真骨頂であり、他県では見られない独自性なのです。

真摯にオペラと対峙する強い意志と姿勢を持った鳥取オペラ協会に、オペラを志す音楽家を結束させたのは、オペラ出演のチャンスが毎年巡ることです。鳥取県という小さな芸術文化圏のマイナス要素を、逆転の発想でチャンスの拡大に変換しているのです。ソリストのほとんどは、すでにモーツァルトの4大オペラやオリジナル作品を複数回体験し、今回もまた「アマールと夜の訪問者」を再演します。「毎年、同じメンバーで新鮮味がない」と揶揄する声も聞きますが、実はそのことが鳥取オペラの凄さであり、充実したオペラ公演を支えているのです。一度オペラに出演すると、数段の成長があると言われる。鳥取オペラの歌手たちは、これまで数多くのオペラを体験し、キャリアを積み上げています。このようなチャンスを逃さず、物して来た鳥取オペラの活動こそが、もしかしたら奇跡なのかも知れないと感じています。

今回の公演は、倉吉未来中心大ホールを会場とし「親子のための」と銘打ったものです。オペラに初めて出会う子どもたちに、オペラの面白さを知っていただくこと第一部は構成させていただきました。そして、親子の強い絆と深い愛情を感動的に描いたオペラ「アマールと夜の訪問者」を、本日お出かけいただいた多くの皆様に、ワクワクしながら楽しんでいただきたいものと願っています。

プログラム

第1部

「演出家が語るオペラの楽しみ」 おはなし 演出家 なかむらけいいち 中村敬一

音楽のメロディーは、言葉の抑揚よくようから生まれたと言われる。メロディーをきけば、言葉がわかるかもしれません。そして、そのメロディーにこめられた「心の声」がきくと伝わることでしょ。今日は、演出家の中村敬一さんが、いくつかのオペラからおもしろいシーンやゆかいな二重唱にじゅうしょうをとりだして紹介し、オペラの秘密をみなさんに教えてくれます。

「魔笛」より

★「パパパの二重唱」

パパゲーナ：小椋美香子

パパゲーノ：山田康之

「ドン・ジョヴァンニ」より

★「ドン・ジョヴァンニとツェルリーナの二重唱」休

ドン・ジョヴァンニ：西岡千秋

ツェルリーナ：佐々木まゆみ

★「カタログのアリア」

レポレッコ：吉田章一

★「六重唱」

「フィガロの結婚」より

★「手紙の二重唱」

伯爵夫人：尾前加寿子

スザンナ：松田千絵

★「ケルビーノのアリア」

ケルビーノ：浜中雪絵

「その他」

★「猫の二重唱」 ロッシーニ作曲

猫1：尾前加寿子

猫2：松田千絵

ピアノ／稲毛麻紀・富士原広美

オペラ「アマールと夜の訪問者」^{ほうもんしゃ}

音楽は心の食べ物だといわれます。おいしい料理のオペラは、甘くもあり、辛くもあり、何とも言えない^{よろこ}喜びをあたえてくれます。たくさんの人と出会う^{げきじょう}劇場で、ともに胸の高鳴りを体験することで、大きな^{よろこ}喜びがわき上がります。

オペラの楽しみは美しい音楽に誘われて、物語の中に入ってしまう^{よろこ}喜びです。ドラマが始まると、ハラハラ、ドキドキしながら主人公と一緒に^{しゅじんこう}心がどおり、同じことを考え、感じ、感動している自分を見つけるのです。オペラを楽しむのになんの準備もいりません。何があるのだろうか、ワクワクしながら幕のあがる瞬間を、心ときめかせてお待ちください。そこにあなたのオペラが登場します!

今日のオペラは、アマール少年という^{ます}貧しい羊飼いの親子に^{きせき}奇跡が起こる物語です。夜の訪問者とはクリスマス・キャロルに登場する^{さんけんじん}東方の三賢人のことです。

物語の登場人物

●アマール (ソプラ)

羊飼いの少年。足が不自由だが、夢を^{ゆめ}いっぱい持って明るく生きている。

●アマールの母 (ソプラ)

貧しい^{ます}くらしだが、アマールを大切に育ててきた。

●王様 カスパール (テノール)

イエス・キリストの誕生を知り、お祝い^{たんじょう}にいく途中の三人の王様の一人。老人で耳が遠い。

●王様 メルキオール (バリトン)

三人の王様の一人。キラキラと輝く^{かがや}黄金や宝石を贈り物にしようと持ってきた。

●王様 バルタザール (バリトン)

三人の王様の一人。よい香りを漂わせる^{ただよ}乳香を持ってきた。

●従者 (テノール)

王様たちのお供をして旅をしてきた。贈り物の宝物が盗まれ大騒ぎをする。^{おく}

●ダンスをする少女

村の少女。王様たちをもてなそうと、得意の踊りを披露する。^{おど} ^{ひろ}

●村の人びと (合唱)

アマールの家に王様たちがやって来たことを知り、村人みなで王様たちに食べ物を持ってやってくる。



指揮と演出



指揮 新倉 健 (にいくら けん)



1951年神奈川県生まれ。作曲を福島雄次郎、金光威和雄、指揮法を長谷川朝雄、久保田洋の各氏に師事。主な作品に「マドリガル」「ゴング・エカサマ・ブダヤ」「歌の祭」「セント・ギガ」などがある。また、NYタイムズにより好評を得た「広島が言わせる言葉」をはじめ「ギータンジャリ」、「ワーフ&ワーフ」、「歌の祭」等は海外でも評価を得ている。数々の舞台作品も発表しているが、特に、2002年に初演されたオペラ「ボラーノの広場」が絶賛されたことは記憶に新しい。現在、鳥取大学地域学部教授、鳥取オペラ協会副会長。

演出 中村 敬一 (なかむら けいいち)



1957年東京に生まれる。音楽科を志し、武蔵野音楽大学同大学院で声楽を専攻。卒業後、舞台監督集団「ザ・スタッフ」に所属してオペラスタッフとして活躍。以後、鈴木敬介、栗山昌良、三谷礼二、西沢敬一の各氏のアシスタントとして演出の研鑽を経て1989年より、文化庁在外派遣研修員としてウィーンの国立劇場にてオペラ演出を研修。帰国後、リメイク版「フィガロの結婚」、二期会公演「ドン・ジョヴァンニ」「ボッペアの戴冠」の公演で高い評価を得、続く二期会公演「三部作」(ブッチーニ)、東京室内歌劇場公演「ヒロシマのオルフェ」、日生劇場公演「笠地蔵・北風と太陽」で演出力が絶賛され、1995年、第23回ジローオペラ新人賞を受賞する。

1996年のザ・カレッジ・オペラハウスでの「三部作」をきっかけに、関西歌劇団「コシ・ファン・トゥッテ」関西二期会「シャーロックホームズの事件簿」など関西での活躍も活発となる。2000年3月には新国立劇場デビューとなった「沈黙」が高く評価された。2001年大阪舞台芸術奨励賞を受賞。

2002年国民文化祭オペラ公演「ボラーノの広場」公演の台本と演出を担当し絶賛される。音楽的な視野と感性による舞台づくりは広く認められ、また、若い声楽家の指導を行い、オペラの普及に尽力している。

これまで鳥取オペラ協会全ての公演の演出を手がけ、その育成に大きな貢献をしてきている。

国立音楽大学客員教授、大阪音楽大学、大阪教育大学講師。

尾前 加寿子 (おまえ かずこ)



作陽音楽大学声楽科卒業。モーツァルトウム音楽院(オーストリア)にて学ぶ。坂本朱美、ルドルフ・クノール、村田健司、飯田純子、平野弘子の各氏に師事。1991年、帰国記念リサイタル後、リサイタル2回。1996年、モーツァルト「レクイエム」ソリスト(米子公演)、鳥取オペラ研究会公演「河童譚」「子うさぎましろのお話」、1998年アザレアのまち音楽祭、鳥取オペラ協会公演。「フィガロの結婚」にスザンナ役、2000年「魔笛」公演ではパミーナ役で好演する。国民文化祭とつとり2002オペラ「ボラーノの広場」公演でロザーノ役、昨年の「コシ・ファン・トゥッテ」でフィオルディリージを歌い好評を得る。鳥取県の音楽家たちコンサート出演。現在みずばしょうコーラス、のぞみ会ミルフィュー指揮者。鳥取ソリスト、鳥取オペラ協会理事。

佐々木 まゆみ (ささき まゆみ)



昭和音楽大学音楽部声楽学科卒業、同大学音楽専攻科声楽学科首席修了。修了時に学長賞受賞。これまでに生原幸枝、越賀理恵、田野崎加代の各氏に師事。2003年鳥取県声楽オーディションにて審査員特別奨励賞受賞。2004年奈良にて「トスティに捧げる歌曲コンサート」出演。鳥取オペラ新人公演「バスティアンとバスティアンヌ」にてバスティアンヌ役を好演。2006年第二回声楽オーディションにて優秀賞受賞、アザレアのまち音楽祭ファイナルコンサート、鳥取オペラ公演「コシ・ファン・トゥッテ」合唱出演、山陰の名手たちコンサート出演、こどもの楽園コンサート出演、今年のアザレアのまち音楽祭サロコンコンサートに出演。現在平野弘子氏に師事。鳥取オペラ協会会員。

浜中 雪絵 (はまなか ゆきえ)



作陽音楽大学音楽学部音楽学科声楽専攻卒業。阿部靖子、森山俊雄、齋求、平野弘子の各氏に師事。これまでに鳥取オペラ協会公演「フィガロの結婚」「ボラーノの広場」「アマールと夜の訪問者」に合唱参加、「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・エルヴィーラ役、「バスティアンとバスティアンヌ」バスティアンヌ役、昨年の「コシ・ファン・トゥッテ」ドラベッラ役で出演。鳥取オペラ協会会員。

第1部 出演者



小椋 美香子 (おぐら みかこ)



作陽音楽大学声楽科卒業。同大学専攻科修了。在学中からオペラマイスターコースに在籍し、研究生課程を修了。船瀬幸子、西内玲、フォルカー・レニッケ、小松英典の各氏に師事。オペラには「コシ・ファン・トゥッテ」にフィオルディリージ役、「フィガロの結婚」にはスザンナ役、「魔笛」ではパバゲーナ役で出演している。再演の「フィガロの結婚」で再びスザンナ役を歌い、大成功をおさめた。国民文化祭とつとり2000オペラ「ボラーノの広場」公演で床屋の親方役、昨年の「コシ・ファン・トゥッテ」でデスピーナを歌って好評を得る。わらべ館童謡唱歌推進員。鳥取オペラ協会会員。

松田 千絵 (まつだ ちえ)



島根大学教育学部特別音楽課程(声楽)卒業。藤井文子、白石由美子、中澤桂の各氏に師事。これまでオペラには「フィガロの結婚」のケルビーノ、「魔笛」のダーム、「ボラーノの広場」のミーロ役で出演し、高い評価を得た。再演された「フィガロの結婚」のケルビーノ、「ボラーノの広場」のミーロ役で成功をおさめ、その存在感を示した。一昨年は「アマールと夜の訪問者」でアマール役、昨年は「コシ・ファン・トゥッテ」でフィオルディリージ役で出演し、好評を博した。平成15年度鳥取県声楽オーディションにおいて「審査員特別奨励賞」、一昨年の第16回日本声楽コンクール入選。また、アザレアのまち音楽祭に連続して登場している。わらべ館童謡唱歌推進員。鳥取オペラ協会会員。

米澤 幸 (よねざわ さち)



鳥根女子短期大学卒業。平野弘子氏に師事。1996年、モーツァルト「レクイエム」米子公演にソリストとして出演。鳥取オペラ研究会公演「河童譚」「子うさぎましろのお話」に出演。オペラでは、「コシ・ファン・トゥッテ」にドラベッラ役で、「フィガロの結婚」にマルチェリーナ役で、「魔笛」にはダーメ役で、昨年「コシ・ファン・トゥッテ」ではドラベッラ役で出演し好評を得る。鳥取オペラ協会会員。

北村 保史 (きたむら やすし)



鳥取大学教育学部卒業。声楽を西岡千秋、平野弘子の各氏に師事。1990年、国民文化祭(愛媛)独唱部門に参加。鳥取オペラ協会「フィガロの結婚」「魔笛」「ボラーノの広場」等に出演。1995年および2001年リサイタル開催。2006年「自由空間演奏会」に「鶴崎千晴&北村保史ジョイントコンサート」に出演する。現在鳥取市立津ノ井小学校勤務。鳥取オペラ協会会員。

吉田 章一 (よしだ あきかず)



鳥取大学教育学部卒業。広島大学大学院学校教育研究科修了。声楽を小松英典、西岡千秋、佐藤農、吉田征夫、平野弘子の各氏に師事。ソロ・コンサート、ジョイント・コンサートのほか、モーツァルトやフォーレのレクイエム、バッハのヨハネ受難曲等のソリストを務めた。オペラではモーツァルトの「コシ・ファン・トゥッテ」「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」に出演。特に2002年の国民文化祭オペラ公演「ボラーノの広場」では主役のキューストを歌い圧倒的な成功をおさめた。2004年の再演では、全国レベルで通用する風格を見せた。また、特筆に値するのはドイツリートに対する造詣の深さと演奏力の高さには定評がある。現在、淀江小学校勤務。鳥取オペラ協会理事。

アマールの母 鶴崎 千晴 (つるさき ちはる)



武蔵野音楽大学声楽科卒業。森原紀美子、藤田みどり、佐伯真弥子、平野弘子の各氏に師事。1989年、ジョイント・コンサート。1999年鳥取オペラ協会公演「フィガロの結婚」で伯爵夫人、2002年国民文化祭オペラ「ボラーノの広場」に合唱参加。2003年「ドン・ジョヴァンニ」にドンナ・エルヴィラ役で出演。2004年ソロ・リサイタル。アザレアのまち音楽祭ファイナル公演のソリストとし、また、一昨年はサロンコンサートに登場し、好評を得た。2005年の鳥取オペラ協会公演「アマールと夜の訪問者」で母親役を演じ高い評価を得た。現在、鳥取オペラ協会理事

王様 カスパール 松本 厚志 (まつもと あつし)



鳥取大学教育学部卒業。由良育英高校、鳥取大学混声合唱団フィルコールに所属し、佐々木道也氏に師事。その後、混声合唱団「みお」を経て、男声合唱団「虹」、鳥取男声合唱団にて活躍している。1999年、鳥取オペラ協会公演「フィガロの結婚」に合唱参加。翌年「魔笛」にモノスタス役でソリストデビューし好評を得る。国民文化祭とっとり2000オペラ「ボラーノの広場」で村人役を歌った。また、とっとり2002オペラ「ボラーノの広場」で村人役を歌った。そのほか、「ドン・ジョヴァンニ」ではオッターヴィオ役、2005年の「アマールと夜の訪問者」ではカスパール役で好評を得た。現在倉吉市立山守小学校教頭として勤務。鳥取オペラ協会理事。

王様 メルキオール 山田 康之 (やまだ やすゆき)



鳥取大学教育学部卒業。西岡千秋氏に師事。1996年、鳥取オペラ研究会公演「河童譚」「子うさぎましろのお話」に出演。1998年、アザレアのまち音楽祭バリトン・ソロコンサートに出演。オペラ出演はこれまで「コシ・ファン・トゥッテ」のグリエルモ役、「フィガロの結婚」では二度のタイトルロールを歌い、「魔笛」ではパパゲーノ役をこなした。国民文化祭とっとり2002オペラ「ボラーノの広場」公演においてテーモ役を歌い高い評価を得てきている。2005年は「アマールと夜の訪問者」でメルキオール役を歌い好評を博した。現在、倉吉市立上北条小学校に勤務。鳥取オペラ協会理事。

第2部 出演者



アマール 野津 美和子 (のつ みわこ)



鳥根大学教育学部特別音楽課程(声楽)卒業。声楽を藤井文子、常森寿子各氏に師事。オペラ「フィガロの結婚」(バルバリーナ)、「魔笛」(クナーベ)、「ドン・ジョヴァンニ」(ツェルリーナ)、「ボラーノの広場」(ファゼーロ)、ハイライト版「椿姫」(ヴィオレッタ)、「ラ・ボエーム」(ミミ)、「愛の妙薬」(アディーナ)等に出演。一昨年の鳥取オペラ協会公演「アマールと夜の訪問者」ではアマールを、昨年の「コシ・ファン・トゥッテ」ではデスピーーナを演じ好評を博した。ミュージカル「くにびき」(出雲の姫)、「ミサ・ソレムニス」【第九】にソプラノソリストとして出演。また一昨年、益田市のグラントワのオープニングコンサートにゲストとして出演。第6回日本クラシックコンクール全国大会入選。その他数々のコンサートに出演している。鳥取オペラ協会会員

王様 バルサダール 西岡 千秋 (にしおか ちあき)



武蔵野音楽大学大学院声楽専攻終了。市田キヨ子、疋田次郎の各氏に師事。県内においては第九公演のソリストを務めたり、アザレアのまち音楽祭、鳥取県の音楽家たちコンサートなど常連演奏家として活躍している。県内公演のオペラではこれまで「電話」「コシ・ファン・トゥッテ」「フィガロの結婚」「魔笛」「フィガロの結婚」再演、「ドン・ジョヴァンニ」などに出演し続けている。国民文化祭とっとり2002オペラ「ボラーノの広場」公演では、成功の礎となって活躍した。鳥取オペラ協会の公演全てのプロデューサーとしても活躍している。現在、鳥取大学地域学部准教授。鳥取オペラ協会副会長・演奏部長。



従者 加藤 耕一 (かとう こういち)



島根大学教育学部特別音楽課程（声楽）卒業。
 在学中より「魔笛」「コシ・ファン・トゥッテ」に出演。
 1998年、鳥取オペラ研究会公演「コシ・ファン・トゥッテ」に出演。鳥取オペラ協会第1回公演「フィガロの結婚」には合唱参加。「魔笛」にはタミーノ役、2001年「フィガロの結婚」でクルツィオ役、国民文化祭とっとり2002オペラ「ボラーノの広場」公演においては巡査役で出演し好評を得る。また、2005年公演「アマールと夜の訪問者」ではカスパール役と従者役の両方で出演し好評を博した。
 現在、中山中学校に勤務。鳥取オペラ協会会員。

踊りを踊る少女 三島 麻美 (みしま あさみ)



鳥取大学大学院地域学研究科地域創造専攻1年在学

踊りを踊る少女 藤井 奈津子 (ふじい なつこ)

鳥取大学地域学部地域教育学科4年在学中

鳥取オペラ協会声楽アンサンブル



ソプラノ 尾前 加寿子
(おまえ かずこ)



ソプラノ 松田 千絵
(まつだ ちえ)



ソプラノ 銭亀 睦美
(ぜにかめ むつみ)



アルト 米澤 幸
(よねざわ さち)



アルト 西岡 恵子
(にしおか けいこ)



アルト 佐々木 まゆみ
(ささき まゆみ)



テノール 北村 保史
(きたむら やすし)



テノール 藤光 洋志
(ふじみつ ひろし)



バス 魚住 保幸
(うおすみ やすゆき)



バス 森田 桂介
(もりた けいすけ)



バス 上垣 彬光
(うえがき あきみつ)

鳥取オペラ協会オーケストラ・アンサンブル

第1ヴァイオリン	吉田 明 雄 (よしだ あきお)
第2ヴァイオリン	増田 千 鶴 (そた ちづる)
ヴァイオリン	古 味 垂 紀 (こみ あき)
チェロ	須々木 竜 紀 (すすき たつり)
コントラバス	渡 辺 琢 也 (わたなべ たくや)
ホルン	稲 田 真 司 (いなた しんじ)
オーボエ	古 川 雅 彦 (ふるかわ まさひこ)
クラリネット	杉 山 清 香 (すぎやま きよか)
ファゴット	木 村 恵 理 (きむら えり)
トロンボーン	小 椋 智 恵 子 (おぐら ちえこ)
トランペット	玉 崎 勝 守 (たまさき かつもり)
ピアノ	稲 毛 麻 紀 (いなげ まき)

□スタッフ

プロデューサー 西岡 千秋
 演出 補 置 装 置 スタッフ・ユニオン
 照明 榎木 実
 舞台監督 山中 舞
 副指揮補 横山 大輔
 マネージャー 鈴木百百子

ピアニスト 稲毛 麻紀
 谷本 智子
 富士原広美

事務局 吉田 章一